

第 69 回理事会議事録

1. 日 時：2021 年 1 月 25 日（金）
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 10 名】 鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、久保公人、齋藤陽子、寺本直志、橋本公二、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 関口修、正村祐一
【事務局 3 名】 高野英樹事務局長、大政哲人国際交流事業部長、仲村篤志競技会事業部長
(理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 10 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 68 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 2021 年度予算案の件

鳩山会長代行より 2021 年度予算について以下の説明があった。

2021 年度予算案については、12 月時点のトータル 900 万円の赤字の予算案から 326 万円改善しトータル 574 万円の赤字とした。

改善の理由は、2021 年度の APBF 選手権の派遣費をオンラインによる試合開催を想定した費用に変更し、費用が削減されたためである。それ以外については、収入、経費ともに 12 月時点のものから変更を行っていない。

2021 年度の世界選手権についてもオンラインによる試合開催が有力となっているが、WBF の動きはまだなく、海外派遣を行う場合の費用で算出した。3 月理事会で状況を見て判断する。

収入については 2020 年度の予算の概ね 7 割としている。その見通しが適切であるかの判断は難しく、新型コロナウイルス感染症の状況を注視していきたい。

2021 年度予算案については 3 月理事会で引き続き検討を行うこととした。

第 3 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 1 月 13 日の企画委員会について以下の報告があった。

新型コロナウイルス感染症関連では、緊急事態宣言の発出を受けて対象

期間内の1月の朝日新聞社杯および日本リーグの延期を行った。2月の横浜スイスチーム、オープンペアについては1ヵ月前を過ぎるとキャンセル料が満額になるため中止した。各ブリッジセンター、クラブの活動については、昼間の活動は感染防止対策の徹底を行いつつ継続し、夜8時以降を含むものについては取りやめている。

ブリッジセンター、クラブへ参加したあと、後日に陽性が判明したプレイヤーについては、昨年11月に大阪BCで、昨年12月にムサシノBCおよび茅ヶ崎BCの参加者から発生した。ブリッジセンター、クラブ内での感染はこれまで1回も報告されていない。ムサシノBCの事例では保健所から、ブリッジのプレイ環境はマスクの着用、仕切りパネルの導入、大声は出さず必要などきのみの発声、手指の消毒の実施を行っていることから他の参加者は濃厚接触者にあたらないとの指示を受けた。後日に陽性が判明した参加者に関する情報はJCBLのHPで掲載を行っている。感染防止対策については、首都圏の全てのセンターで仕切りパネルの導入が実施済みもしくは導入を検討中である。

ブリッジセンターのテーブル数については、1月の緊急事態宣言後はかなり厳しい状況に陥っている。

2. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より代表助成規則の改正案が提出され、以下の説明があった。

2021年度APBF選手権は6月頃に香港で開催の予定であったが、香港が開催を断念しオンラインによる開催が濃厚となっているため、オンラインで開催される場合の代表選手への助成額について規則を定める。セキュリティの観点から東京に全選手が集まって行う方式を予定し、遠方の選手に交通費、宿泊費の助成を行うものとする。

検討の結果、これを承認した。

3. 競技委員会

寺本競技委員長より1月6日開催の競技委員会について報告があった。

4. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より2021年も新入会キャンペーン、紹介キャンペーンを実施する旨説明があった。

5. 競技会事業部

山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

6. 国際交流事業部

吉田国際交流事業担当理事より2021年APBF選手権の開催について検討を行ったAPBF会議の議事録、および香港ブリッジ協会から提出され

た 2021 年 APBF の開催断念に関する通知について説明があった。2021 年 APBF 選手権はオンライン開催の前提で、試合方式の検討が今後 APBF 内で行われる。

7. 法人・管理部

寺本法人・管理部担当理事より 12 月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、月次収支実績、およびクラブ勘定の残高について以下の報告があった。

月次収支は 12 月が約 30 万円の黒字であった。セクショナルを中心とした公認料収入は 10-11 月から下降傾向であるが、家賃支援給付金および雇用調整助成金の 8~9 月分で合わせて約 750 万円の雑収入があった。

決算見込みについては、緊急事態宣言後のテーブル数の落ち込みが大きく、朝日新聞社杯、日本リーグの延期もあるため、2~3 月のテーブル数の回復次第だが、数百万円以上の赤字決算を予想している。

鳩山会長代行より、公認料の一部返還によるセンター支援の実施の提案および以下の説明があった。

1 月以降はセクショナルを中心としたセンター主催競技会のテーブル数の減少が目立ち、センター経営の悪化が深刻である。JCBL 自体も厳しい状況であるが、できる限りの支援を行い、センター経営の持続、安定に寄与することとしたい。

検討の結果、実施する方向で詳細を詰め、3 月理事会で決定することとした。

寺本法人・管理部担当理事よりガバナンスコードの自己説明および公表を 3 月に行う旨報告があった。

第 4 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2021 年 3 月 26 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する

当日配布資料：第 3 号議案「代表助成規則」

「第 269 回競技委員会議事録」

「ガバナンスコードの対応方針の報告」

2021 年 1 月 22 日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 69 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 関口 修

監 事 正村 祐一